２００６
秋　号

VoL　9

ひだまり

宮城県立がんセンターボランティア「ひだまり」平成18年10月15日　発行
編集責任者　「ひだまり」編集委員会

機関紙「ひだまり」について

医療支援情報室　次長　米谷　邦明

本号の発行にあたって「コラムをお願いします。」との話があった時、「えっ、なんで私が、もっと書く人がいっぱいいるんじゃないですか。」と言ってはみたものの、既に書いた人の名前を聞いて、そんなに多くの人が書いてもらったのかと、改めてひだまりの歴史を感じさせられました。

広報誌で大切なことは、読む人に何を伝えるかということですが、この点、ボランティア活動を紹介するという「ひだまり」の働きは、毎号の誌面中で十分なされてきたと思います。更に大切なことは、継続して発行しているか、定期的に発行されているかということもあります。

ランティア活動の紹介だけにとどまらず、患者さん、そして家族の方々、また職員までに及ぶ：つながり：をつくるという点で大きな働きがあったと思います。

振り返って見ると、創刊以来、この「ひだまり」が果たしてきた役割は、ボランティアの皆さん、ご苦労様です。これからもよろしくお願いします。

センターとしても、今年四月に、患者さんの支援をこれまで以上に行なうようにと医療支援情報室が設置されました。しかし、当室の開設以来の課題である広報誌の発行が、まだできていません。「ひだまり」を見習わなければと思っています。

・・秋・・
読書に最適な季節

今号は、ボランティアが整理管理をしている7階サンルーム内にある図書室の紹介です。壁一面の書架に並んでいる図書はすべて皆様から寄贈されたものです。文庫本の小説類などが多いのですが、ハードカバーの単行本も数多くあります。2年程前に、冊数が多い作家の文庫本に見出し板をつけました。整理もしやすくなり、利用者の方にも喜ばれています。

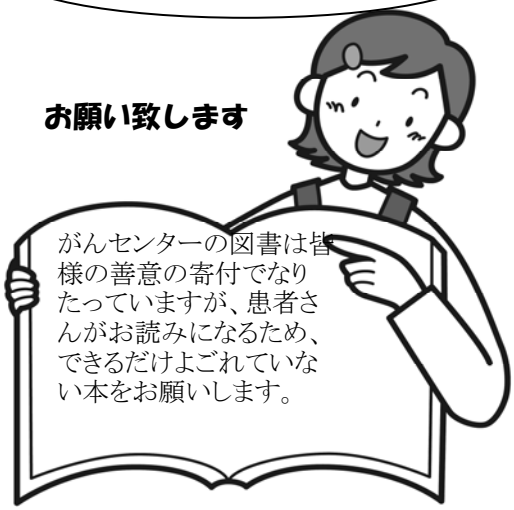
また、これらの本のなかから、院内や、病室への貸し出し用の本が選ばれています。図書室で、本の整理をしているボランティアを見かけたら、気軽に読書の相談など声をかけて下さい。

定期的に図書の整理もしています。

分かりやすいようにラベルも作ってみました。

7階図書コーナー風景です。

お願い致します



がんセンターの図書は皆様の善意の寄付でなりたっていますが、患者さんがお読みになるため、できるだけよごれていない本をお願いします。

文芸コーナー

俳句

秋高しタグに曳かるるパナマ船

十五夜を迎ふ玻璃戸を磨きをり

（武）

コラムひだまり

私は近年「出会い」というものをとても大切に考えるようになりました。

わが生涯の約七十年にしかおほえなくきる広大な宇宙の歴史の一瞬、私たちはかくひとときの間に出会うこのはるかな生命の奇跡を思えばそれだけで感動とともに伴う無限の宝物。

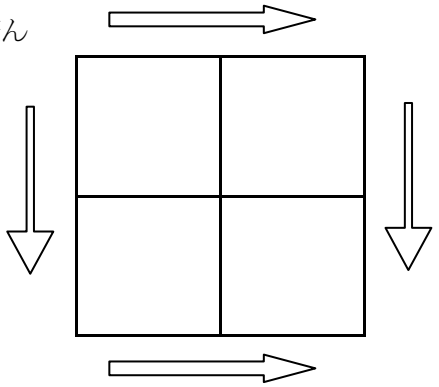
（ふ）

2文字クロスワード

ヒントを読んで、2文字のひらがなを入れクロスワードを完成させて下さい。
答えはボランティア室までお願いします。
応募の方には、素敵な「しおり」を差し上げます。
夏号の答えは、「キラキラ」でした。

ヒント　信号の色は○・青・黄色

矢印の方向に読んでください



○の塩焼きは美味しい

○は万年

○と希望にあふれています

編集後記

ふと気がつくともう秋。編物の季節がきました。編物は、編む人の性格がでて しまいます。編む人、間違うと気になってゆっくりとと時間をかけて編み上げる人、ちょっとぶきっちょでも、逆にけ絶対ほどかない人・・・。出来上がったセーターは温かみに溢れています。

秋の日差しのなかで、私達の手作り機関紙「ひだまり9号」をお届け致します。

（担当　前田利子）

編集委員（五十音順）

泉　庸子　小林晴美　佐々木サチ　鈴木文子　高泉武悦　星寿美子　前田利子

ギャラリー展予定

平成18年10月24日～11月7日	墨友会作品展
平成18年11月14日～12月28日	佐藤ふみ子植物画展
平成18年12月5日～12月19日	キルト＆人形展
平成18年12月26日～平成19年1月9日	切り絵展
平成19年1月16日～1月30日	キャノンフォトクラブ仙台写真展

～宜しくお願い致します～

＊11月よりボランティア「ひだまり」の仲間が増えます。
皆さんよろしくお願いします。